

講義録レポート

講義録コード

00-5-11-101-01

講 座	簿記検定講座	科目①	ベーシック講義
目標年	2015年6月合格目標	科目②	商会 I
コース	1 級レギュラーコース	回 数	1 回
用 途	☒ 個別DVD ・ ☒ 集合DVD ☒ WEB通信 ・ ☒ DL 通信 ・ ☒ DVD通信 ・ 資料通信		

収録日	2014 年 6 月 10 日		
講師名	丹羽 敬紀 先生	内 訳	板書 枚数
			0 枚 ※レポート 含まず
			補助レジュメ 枚数
			11 枚
		その他 ()	枚

授業構成	前半 70 分 → 休憩 10 分 → 後半 75 分		
実施テスト	有 ・ ☒ 無		
対応テスト	<ミニテスト>		
	<答練・演習>		
使用教材	●基本テキスト 合格テキスト I P. 2 ~ P.		
	●レジュメ	[] P. ~ P.	
	●その他	[] P. ~ P.	
配布教材	●教材(テキスト・問題集) ()		
	●補助レジュメ	() 11 枚	講義録添付 (有・無)
	●その他	() 枚	講義録添付 (有・無)
備考	*ビデオ受講生の方へ* 正確な講義時間につきましては、DVDケースの背表紙下に記載されていますので適宜ご確認ください。 (例) ①51 記載の場合、前半講義 51分 (答練・演習の場合は、解説もしくは事前講義 51分を表します)		
	~ビデオ・Web受講生各位~ 黒板を写すカメラのスイッチング(切替)は講師が行っている都合上、映像中に一部講師が画面に写らない場合もございますが、故障ではありません。音声及び本講義録をご参照の上ご受講ください。受講生の皆様にはご迷惑をおかけいたしまして申し訳ございません。		

TAC簿記検定講座

◎ はじめに

このクラスの商業簿記・会計学を担当する丹羽です。これから1年間みなさんと一緒に勉強していきます。よろしくお願いします。

最初にこれから勉強する日商簿記検定試験1級の概略と勉強上の注意点を話ししていきます。

I 試験の概要

1. 試験日（1級は6月と11月の年2回）

11月の第3日曜日 第138回 平成26年11月16日（日）

6月の第2日曜日 第140回 平成27年6月14日（日）

2. 試験制度

	科目	配点	時間
2級	商業簿記	60点	合計 2時間
	工業簿記	40点	
	合計	100点	

合計 70 点以上で合格

	科 目	配 点	時 間
1 級	商業簿記	25 点	90 分
	会 計 学	25 点	
	回収・休憩等（約 20 分）		
	工業簿記	25 点	90 分
	原価計算	25 点	
	合 計	100 点	3 時間

合計 70 点以上で合格

※ 2級との違い

① 実質的に相対評価の試験です

日商1級の試験は、学習範囲が広く、本試験の難易度にバラツキがあります。ただし、事後的に採点調整することで合格率は大きく変動しないようにしているようです。したがって、実質的に上位10%前後の方が合格できる試験です。

② 足きり制度があります

4科目のうち1科目でも10点未満の科目があると、合計点にかかわらず、不合格になってしまいます。

（例：商25＋会25＋工25＋原9＝合計84でも不合格）

※ 1級に合格するためには…

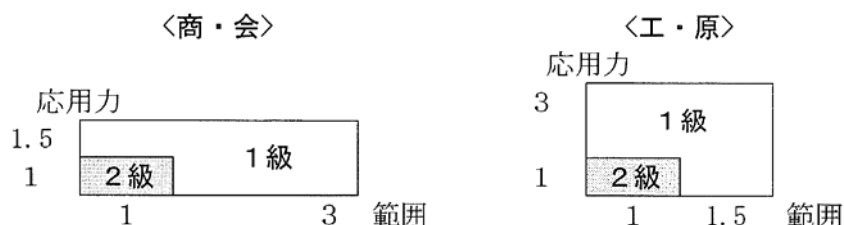
- ① 苦手な科目を作らない
- ② 多くの受験生が正解できるところでミスしない
- ③ そのために、基本的な論点の演習を欠かさない。

3. 合格率

129回	131回	132回	134回	135回	平均
13.0%	12.2%	12.9%	9.7%	10.4%	11.6%

4. 学習内容の特徴

1級の科目ごとの学習内容を2級と比べると次のような特徴があります。



科 目	特 徴
商業簿記 会 計 学	① 知 識…知識をインプットすることが一番大事 ② 処理能力…早さと正確さを身につけるために反復練習が必要
工業簿記 原価計算	① 理 解 力…覚えるだけでなく、理解することが重要 ② 読 解 力…問題ごとに状況や条件を読み取ることが大切 ③ 思考能力…計算手順を自分で組み立てられる力が必要

※ 上記5つの能力は、すべての科目で必要なことですが、商・会は知識優先、工・原は理解優先と考えてください。

II 商業簿記・会計学の勉強について

1. 出題形式・内容

	出 題 形 式
商業簿記	総合問題…財務諸表や試算表などを作成する大きな問題が1つ。 ただし、設問がある場合も
会 計 学	個別問題…小さな問題が3問くらい。うち、必ず1つは理論問題。

※ 出題範囲や内容には、商業簿記と会計学での明確な差はありません。

学習段階では、純粋な理論問題対策以外は、商業簿記と会計学を区別して勉強する必要はありません。

※ 理論問題のタイプ

① 正 誤 問 題…文章が正しいかどうかを判断する問題。

間違っている箇所の指摘や正しい語句を書くことも。

② 空欄記入問題…文章の空欄に入る語句を記入する問題。

③ 論 述 問 題…指示されたことについて文章で解答する問題。

問題としての難易度も高いですが、採点する方も大変なので、ほとんど出題されません。

2. 商会の勉強の心得

- ① 1 級のための予習は必要ないですが、2 級までの知識があることが大前提
- ② 学習範囲が広いので重要度に応じてメリハリのついた学習を
- ③ できるだけ理解することを心がけること
ただし、手を動かさずに、頭の中だけ考えるだけではダメ
- ④ とにかく問題を解く
問題を解いて初めて理解できることもあります。
- ⑤ できるだけ会計基準を読む
用語の定義や計算対策と直結するところ確認しましょう。
- ⑥ 忘れないように定期的な復習をする。

3. カリキュラムについて（1 年コースまたは 10 ヶ月コース）

	ベーシック			アドバンス	的中答練	公開模試	本試験
	商 12 回	工 12 回	商・工 交互に 各 10 回	商・工 交互に 各 10 回	商・工 交互に 各 5 回	あわせて 1 回	
商先行							
工先行	工 12 回	商 12 回					

※ 1 年コースは、最初から最後まで週 2 回の授業で学習。

※ 10 ヶ月コースは、1 年コースの途中から参加。最初だけ週 4 回の授業。

4. 使用教材

- ① 合格テキスト 商業簿記・会計学 I～Ⅲ Ver 11.0
- ② 合格トレーニング 商業簿記・会計学 I～Ⅲ Ver 11.0

※ 講義ではテキストのみ使用します。トレーニングは復習専用です。

ミニテストなどの演習問題は、その都度、講義で配布します。

5. 補助教材（講義では使いませんが、できるだけ各自でご用意ください）

- ① 「合格するための過去問題集」←回数別，商工あわせて 1 冊
- ② 「出題パターンでマスター過去問題集」←論点別，商・工が別冊

※ 商会は毎年ルールが変わるので、6 月スタートで翌年の 6 月目標の方は、

②「出題パターンでマスター過去問題集」の工原だけ最初に用意して、
商会は 11 月以後に最新版をお求めください。

- ③ 「会計学理論マスター」←正誤問題と重要な基準をまとめた冊子です。
11 月以後に最新版をお求めください。

6. 欠席時のフォローについて

- ① 自由出席制度（近くに振替可能なクラスがある方は他のクラスに出席できます）
- ② Webフォロー，DLフォロー（本科生は無料で利用できます）
- ③ 個別DVDフォロー（要予約，1回500円）

7. 質問電話 03-5276-8916

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
14:00～17:00	○	○	○	○	○	×	×
18:00～20:00	○	×	○	×	○	×	×

※ 祝日，年末年始，GW，お盆にはお休みをいただきます。

※ 試験直前には土日にも質問電話を設ける予定です。

テーマ1 商業簿記・会計学総論

② 英米式決算法（P4）

設例 1-1 英米式決算法による簿記一巡の手続き（P9）

※ 集計問題の解き方

- ① 最初に問題全体をザア〜っと見る。
- ② 必要な勘定を計算用紙にあらかじめ作っておく。
(慣れてきたら、よく使う勘定だけ作って、たまにしか使わない勘定は、資料の試算表などに直接書き込むようにしましょう)
- ③ 仕訳を書く。
(慣れてきたら難しい仕訳だけ書くようにして、簡単な仕訳は、できるだけ頭の中で考えるだけにしましょう)
- ④ 仕訳にもとづいて、各勘定などに記入する。
- ⑤ 各勘定を集計しながら、解答を完成させる。

問1 決算整理前残高試算表（前T/B）

1. 開始手続→再振替仕訳（期首の経過勘定をもとの収益・費用の勘定へ振替え）

(一般管理費)	(前払一般管理費)
(未払販売費)	(販売費)

2. 営業手続き

(1)	(未払法人税等)	(現金預金)
(2)	(繰越利益剰余金)	(利益準備金) (未払配当金)
(3)	(未払配当金)	(現金預金)
(4)	(仕入)	(買掛金)
(5)	(売掛金)	(売上)
(6)	(買掛金)	(現金預金)
(7)	(現金預金)	(売掛金)
(8)	(販売費)	(現金預金)
(9)	(一般管理費)	(現金預金)

3. 勘定記入（問題を解くときは、金額だけ記入するようにしましょう）

現金預金

前・繰 4,800	(1)
(7)	(3)
	(6)
	(8)
	(9)

売掛金

前・繰 3,000	(7)
(5)	

繰越商品

前・繰 1,000	
-----------	--

前払一般管理費

前・繰 200	4/1
---------	-----

備品

前・繰 1,000	
-----------	--

仕入

(4)	
-----	--

販売費

(8)	未払
-----	----

一般管理費

前払	
(9)	

買掛金

(6)	前・繰 2,500
	(4)

未払法人税等

(1)	前・繰 600
-----	---------

未払販売費

4/1	前・繰 100
-----	---------

貸倒引当金

	前・繰 60
--	--------

減価償却累計額

	前・繰 300
--	---------

資本金

	前・繰 5,000
--	-----------

利益準備金

	前・繰 700
	(2)

繰越利益剰余金

(2)	前・繰 740
(2)	

未払配当金

(3)	(2)
-----	-----

売上

	(5)
--	-----

問2 決算整理後残高試算表（後T/B）

(1) 売上原価の算定（期首・期末の商品を加減して仕入 a/c で売上原価を算定）

(仕 入)	(繰 越 商 品)
(繰 越 商 品)	(仕 入)

繰 越 商 品		仕 入	
前T/B 1,000	期首	前T/B 4,000	期末
期末		当期仕入	
		期首	

(2) 貸倒引当金の算定（差額補充法）

(貸倒引当金繰入)	(貸倒引当金)
-----------	---------

貸倒引当金繰入		貸倒引当金	
		前T/B 60	

(3) 減価償却費の計上（定額法，10年，残存価額なし）

(減価償却費)	(減価償却累計額)
---------	-----------

減価償却費		減価償却累計額	
		前T/B 300	

(4) 費用の繰延べ・見越し

(前払一般管理費)	(一般管理費)
(販売費)	(未払販売費)

一般管理費		前払一般管理費	
前T/B 600			

販売費		未払販売費	
前T/B 270			

(5) 法人税等の計上（他の決算整理が終わってから最後に計算）

(法人税等)	(未払法人税等)
--------	----------

※ 決算整理後の収益（売上 5,000 円）・費用（仕入～減価償却費の合計 4,000 円）の差額で税引前当期純利益 1,000 円を計算し，法人税等 400 円を計算します。

問3 損益 a/c および繰越利益剰余金 a/c と繰越試算表（繰越 T/B）

…決算振替と帳簿の締め切り

(1) 収益の損益 a/c への振替え

(売	上)	(損	益)
----	----	----	----

(2) 費用の損益 a/c への振替え

(損	益)	(仕	入)
		(販	売
		(一	般
		(管	理
		(費	)
		(貸	倒
		(引	当
		(金	繰
		(入	)
		(減	価
		(償	却
		(費	)
		(法	人
		(税	等)

(3) 当期純利益の繰越利益剰余金 a/c への振替え

(損	益)	(繰	越	利	益	剰	余	金)
----	----	----	---	---	---	---	---	----

※ 英米式決算法では、資産・負債・純資産の各勘定の残高は、仕訳をきらずに、「次期繰越」の記入だけして帳簿を締め切ります。

最後に、繰越試算表を作成します。

なお、大陸式決算法の場合には、資産・負債・純資産の各勘定の残高を決算残高 a/c へ振り替えるための決算振替仕訳を行います。

※ 問2 後 T/B の繰越利益剰余金 410 円 ← 利益の振替前

問3 繰越 T/B の繰越利益剰余金 1,010 円 ← 利益の振替後

【参考】損益計算書（P/L）（表示区分と利益の名称を覚えよう！）（P18）

I (	)	
II (	)	
1. 期首商品棚卸高		
2. 当期商品仕入高		
合 計		
3. 期末商品棚卸高		
(	) 利益	
III (	)	
(	) 利益	
IV (	)	※1 営業外収益・費用には、財務活動
V (	)	(資金の調達と運用)に関する損益
(	) 利益	を記載します。
VI (	)	※2 特別利益・損失には、臨時損益を
VII (	)	記載します。
(	) 利益	
法 人 税 等		
(	) 利益	

【参考】貸借対照表（B/S）（表示区分を覚えよう！）（P20）

資 産 の 部		負 債 の 部	
I (	)	I (	)
II (	)	II (	)
1. (	)	純 資 産 の 部 省 略	
2. (	)		
3. (	)		
III (	)		

※ 資産・負債の流動・固定分類

1. 正常営業循環基準…先に流動になる科目を決定
現金＋商品売買に直接関係する科目は流動に！
商品、受取手形、売掛金、支払手形、買掛金など
2. 一年基準…残った科目を流動・固定に分類
残りの期間が1年以内なら流動に！
残りの期間が1年超なら固定に！

今日の復習	トレーニング I 問題 1-1～1-3
-------	---------------------

大事な問題 問題 1-1, 1-2

問題 1-1 の仕訳は、自信があれば省略してもいいです。

お願い（その 1）

3・2 級の学習から間があいている方は、2 週間くらいのうちに、

3・2 級の復習もしておいて下さい。

【目 安】

- ① 設例 1-1 が補助プリントを使ってもスラスラできなかった方
- ② P23 の「3・2 級で学習済みの主な決算整理」で見てもわからないものが、5 コ以上ある方
- ③ 上記①, ②に該当する方は 3・2 級の復習が必要です。

3・2 級の過去問題集などで復習しておいてください。

3 級 第 1 問 仕訳

第 3 問 試算表などの集計問題

2 級 第 1 問 仕訳

第 3 問 精算表などの集計問題

お願い（その 2）

次回の学習範囲ですが、授業では理論対策の時間があまりないので、P26 会計学総論からテーマ 1 の最後まで、とりあえず読んでおいてください。

内容を理解したり、細かい一字一句を気にする必要はありません。流し読みする程度でいいので読んでおいてください。

次回の講義では、その中から、すごく大事なところだけ解説する予定です。

1級 学習進度表(ベーシック講義)

1級 商業簿記・会計学 I (Ver.11.0)

標準 学習進度	テーマ	主な学習論点	添削問題 出題範囲
第1回	1 商業簿記・会計学総論	商業簿記総論 会計学総論	基礎演習 第1回
第2回	2 商品売買の会計処理と 原価率・利益率	勘定分析 返品・値引・割戻と割引	
第3回		原価率・利益率 返品・値引・割戻と原価率の関係	
第4回	3 棚卸資産	棚卸資産の評価方法 棚卸資産の評価基準 売価還元法	
第5回	4 割賦販売	回収基準(未実現利益整理法) 回収期限到来基準(未実現利益整理法)	